



発行責任者：ひらま良明後援会  
浜松市中区葵東1-13-1 TEL 053-436-4411

後援会会長：袴田 豪  
発行：平成 27年 10月 20日

## 自動車は生活必需品 税の見直しを！平成27年第3回浜松市議会定例会報告

日頃のご支援に心から感謝を申し上げます。

さて、浜松市議会本会議が10月15日まで開かれ、補正予算や平成26年度決算の審議などを行いました。補正予算では、交通事故件数ワースト1脱出に向けて道路の安全安心対策事業を前倒しで進める他、これまで浜松中心市街地に設置を求めていた自動二輪車駐輪場整備などに要する経費を追加しました。また、今議会において国へ6件の意見書を提出しましたが、所属会派市民クラブからは「自動車関係諸税の見直しに関する意見書」を提出しました。当意見書は今年の9月議会で提出を見送った経過があることから、各会派へ十分な事前説明を行うと共に、文章の修正に最大限応じ対応しました。地方にとって自動車や二輪車は生活の足として必需品であり、その負担増は家計を圧迫します。また、地方には多くの自動車関連企業などが立地しており、経済や雇用を支える屋台骨となっています。負担の増加から販売が低迷すれば地方の衰退につながります。年末に向けて国では平成28年度の税制改正議論が行われますが、自動車関係諸税の簡素化・負担減を求め引き続き取り組んで参りますので、ご支援を宜しくお願ひします。 **浜松市議会議員 平間良明**



市民クラブを代表して議会質問実施

### 9月補正予算の主要事業より

- 住民に身近な施設・道路の安全安心対策推進
  - ・交通事故件数ワースト1脱出のための、即効性の高い交差点事故削減対策10か所の前倒し及び通学路安全対策5か所の緊急対策など
  - ・自動二輪車駐輪場整備新設(楽器博物館東に約70台)

【浜松駅周辺オートバイ駐輪場位置図】



### 平成26年度浜松市決算の概要

#### ●会計別決算額(前年度比)

- 全会計・・・5,381億円 (34億円減)
  - 一般会計・・・2,759億円 (47億円増)
  - 特別会計・・・2,007億円 (±0億円)
  - 企業会計・・・615億円 (13億円増)

#### 平成26年度決算の特徴

- 市税収入増・・・1,313億円 (43億円増)
  - ・個人市民税 461億円 (6億円増)
  - ・法人市民税 139億円 (29億円増)
  - ・固定資産税 520億円 (8億円増) ※家屋新築増
  - ・市たばこ税 52億円 (2億円減)
  - ・軽自動車税 16億円 (5千万円増) ※登録台数増(平成27年4月より軽自動車税増税)

#### 浜松市は借金を削減しています！

- 総市債残高4,904億円 (130億円減少)
- ※平成26年度末5,000億円未満の目標を達成
- 平成18年から8年間で728億円(12.9%)削減



浜松市議会議員  
「ひらま良明」の活動を  
インターネットで  
ご確認ください！



### 9月議会代表質問項目

所属会派市民クラブを代表し以下の項目について質問をしました。

1. ものづくり産業の海外進出支援について
2. マイナンバー制度導入について
3. 教職員の労働環境について
4. 放課後児童会の待機児童解消策について
5. ユネスコ創造都市ネットワーク加盟後の対応について
6. 中山間地域振興計画について
7. 通学路交通安全プログラムについて

質問及び答弁内容については「[浜松市議会市民クラブ](#)」のホームページをご覧ください。

### 自動車関係諸税の見直しに関する意見書

平成28年度の税制改正では、自動車関係諸税の見直しについて、下記事項を講ずるよう強く要望する。

記

1. 車体課税及び、燃料課税の「当分の間として措置され税率」廃止を検討すること。
2. 軽自動車税のうち、1年間延期している原動機付自転車及び二輪車に係る税率について、四輪車と同様新車に限るとするよう見直すこと。
3. 自動車税のグリーン化特例について、経年車への重課は再度検討し過大な負担とならぬよう配慮すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先：衆議院議長様・参議院議長様・内閣総理大臣様・総務大臣様・財務大臣様・経済産業大臣様・国土交通大臣様

### 平成26年度の新エネルギー推進事業について

浜松市ではエネルギー自給率向上(目標 2011年度 4.3%→2030年度 20.3%)に向け、地域特性に応じた新エネルギーの導入を進めています。特に、平均日照時間日本一という地理的条件を活かし、太陽光発電の導入を優先的に進めてきた結果、太陽光発電導入量日本一になるなど成果を上げています。平成26年度の太陽光発電システムの設置件数は予定を大幅に下回りましたが、平成26年度の新事業により、太陽光発電以外の設備設置も進み、電力自給率は平成26年度目標値7.7%に対し、8.2%となり、目標を0.5ポイント上回りました。

その他、公共施設の照明や防犯灯などのLED化促進などにより電力消費量削減も進んでいます。今後も来年4月の電力小売り自由化を見据えて設立した「株式会社浜松新電力」により、当事業の更なる進展が期待できます。



### 創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅推進事業

設置補助対象設備名	助金	予定件数	実績	備考
太陽光発電システム	4万5千円	2,500件	1,747件	平成22年度～累計8,833件
ガスコージェネ(エコウィル)	5万円	30件	19件	平成26年度新事業
燃料電池コージェネ(エネファーム)	14万円	70件	138件	〃
蓄電池	10万円	50件	46件	〃
高性能HEMS	1万円	100件	137件	〃

○舞阪地区、篠原地区、白脇地区(中田島)の公共津波避難施設10か所周辺の電柱31か所に災害対応型照明(蓄電池付ソーラー式LED灯)を設置。夜間の災害で停電になっても避難施設への誘導灯となる

○公共施設屋根貸し事業 小中学校4校設置(和田東小・初生小・北浜中・中川小) 累計16校に設置

### 写真で見る「ひらま良明」活動記録 7月～10月 (一部抜粋)

7月	8月	9月	10月
本田労組支部議員 活動報告(EG・栃木・熊本)	市民クラブ 市内視察(全7区)	バイク・ラブ・フォーラム in 熊本視察	やらまいかミュージック フェスティバル出演